

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

～ 2015年春の食品放射能検査結果 特集 ～

4月から6月の間で、注目度の高かった品目の情報をピックアップしてお知らせいたします。

いわき地域復興センターでは、平成24年4月から現在まで継続して各種放射能検査を行っております。今回は、当センターで依頼の多かった品目を中心に、年度ごとに測定結果をまとめました。

【当センターで依頼の多かった品目の測定結果】

平成27年度 期間：4月1日～6月30日

品目名	総検体数	Cs検出数 (20Bq/kg以上)	Cs最大値 (Bq/kg)	Cs平均値 (Bq/kg)
タケノコ	28	21	123	42.9
ウメ	22	0	-	-
フキ	14	3	53	49.3
ワラビ	7	3	106	64.0
ゼンマイ	5	1	74	74.0
ジャガイモ	5	0	-	-
タマネギ	5	0	-	-
ハチク	4	2	38	31.0
ホウレンソウ	4	0	-	-
ニラ	3	0	-	-
ビワ	3	0	-	-
シイタケ	2	2	111	85.5

平成26年度 期間：4月1日～6月30日

品目名	総検体数	Cs検出数 (20Bq/kg以上)	Cs最大値 (Bq/kg)	Cs平均値 (Bq/kg)
タケノコ	38	22	409	98.7
ウメ	4	0	-	-
フキ	13	0	-	-

平成25年度 期間：4月1日～6月30日

品目名	総検体数	Cs検出数 (20Bq/kg以上)	Cs最大値 (Bq/kg)	Cs平均値 (Bq/kg)
タケノコ	44	33	286	74.9
ウメ	48	5	102	49.8
フキ	9	0	-	-

平成24年度 期間：4月20日*～6月30日
*いわき市による自家消費作物等の検査開始日

品目名	総検体数	Cs検出数 (20Bq/kg以上)	Cs最大値 (Bq/kg)	Cs平均値 (Bq/kg)
タケノコ	26	21	348	130.0
ウメ	13	4	92	58.0
フキ	16	1	68	68.0

※Cs=セシウム（ここでは、放射性セシウム134と137）
※赤字は、Csが検出された品目
※平成27年度の並びは、総検体数降順
※平成24・25・26年度の並びは、平成27年度の品目順

【当センターで受付した検体の年度別推移（4月～6月）】

年度	検査品目	総検体数	Cs検出数 (20Bq/kg以上)	Cs検出割合
平成24年度	53品目	216件	53件	24.5%
平成25年度	40品目	181件	57件	31.5%
平成26年度	27品目	109件	32件	29.4%
平成27年度	44品目	141件	36件	25.5%

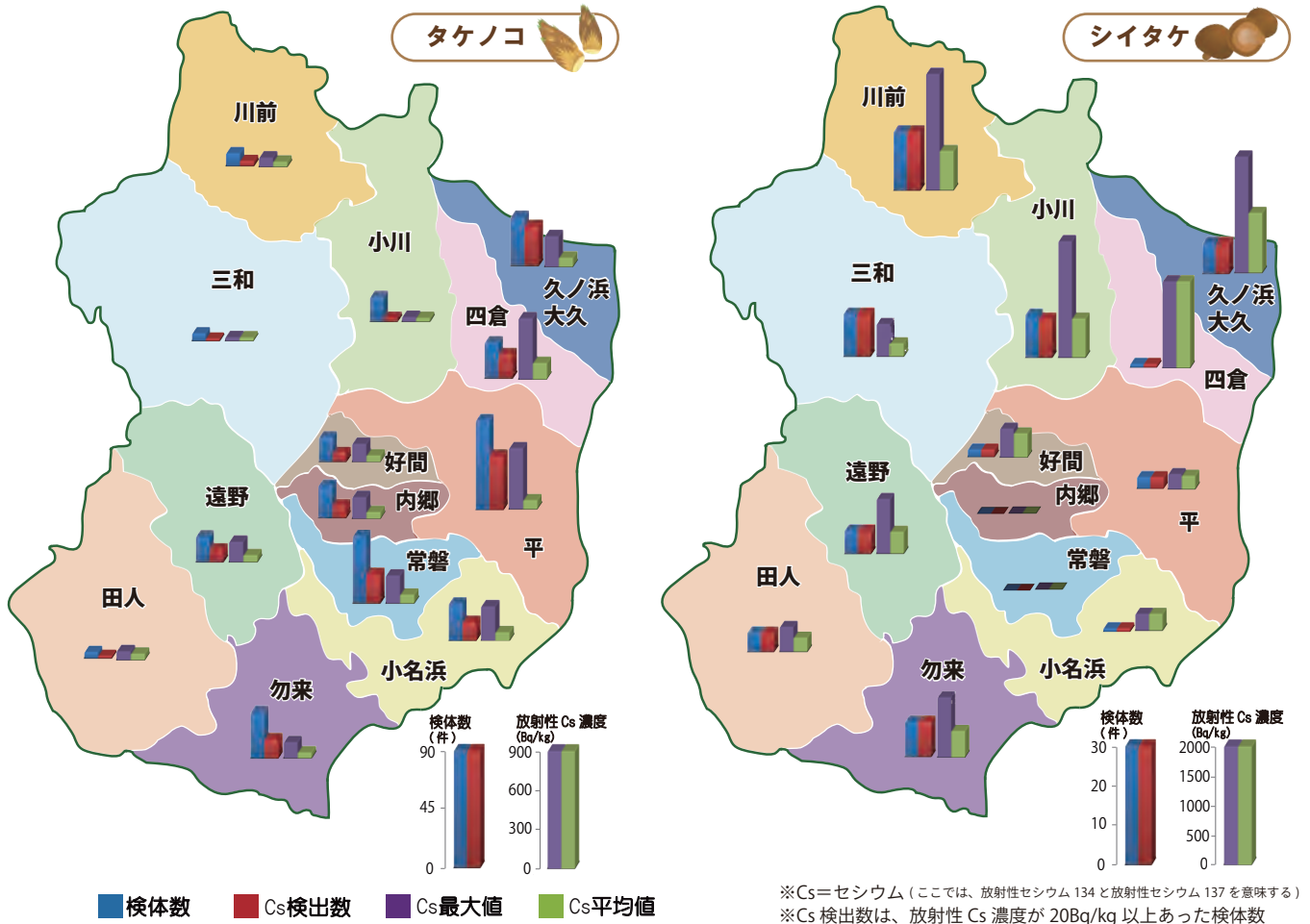
当センターも検査場所のひとつとなっているいわき市「自家消費作物等の放射能簡易検査」に非破壊式検査装置が平成27年3月から加わりました。利用者の方からは、「検体の準備が簡単で量も少なくなくて良いので気軽に依頼できるようになった」等の声をいただいております。本年度（4月～6月）141件中138件が非破壊式検査であったことから、本年度の品目および検体数の増加は非破壊式検査装置導入による影響がうかがえます。



～注目度の高いタケノコ・シイタケについては、いわき市の地域ごとに集計した棒グラフを地図上に表し、裏面に掲載いたします～

～ 春の食品放射能検査結果 特集② タケノコ・シイタケ ～

放射能検査が始まって以来いわき市全体で検体数の多かったタケノコ・シイタケについて、いわき市の地域ごとに状況が分かるよう、地図上に棒グラフで表しました。尚、集計には平成 27 年 4 月 1 日～ 5 月 31 日に測定されたいわき市全体の検査結果を使用しております。



◆過去の結果と比較されたい場合は、平成 24 年度は [News Letter vol.2 2012 July](#)、平成 25 年度は [News Letter vol.14 2013 July](#)、平成 26 年度は [News Letter vol.26 2014 July](#) をご覧ください。（入手方法：当センターにて配布、または HP「REVIVEいわき」ご参照）

第 35 回ミニ相談会 開催報告

6 月 26 日（金）、いわき市より間部氏を講師にお招きし、第 35 回ミニ相談会を開催いたしました。今回は自然災害による被害範囲を予測し地図化した「ハザードマップ」について、日頃からその内容を把握しておくことの重要性をお話いただきました。また災害発生時の対応、家庭での備えや地域の方々との連携等、具体的な防災・減災対策について説明いただきました。最後に、市で備蓄している非常用食糧の一部を試食しました。



講師：間部 芳文 氏（いわき市行政経営部危機管理室危機管理課課長補佐）



ミニ相談会のようす

次回ミニ相談会のご案内（第 36 回）

日時：7 月 24 日（金）10：30～ 場所：いわき地域復興センター
 テーマ：「震災から 4 年 避難区域の復旧・復興状況
 ～震災復興ボランティア活動から考える～」
 講師：富岡インサイド / 相双ボランティア 主宰 平山 勉 氏

文部科学省
 平成 23 年度大学等における
 地域復興のためのセンター的機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 74-8
 Tel. 0246-38-7132 Fax. 0246-38-7134
 URL <http://www.revive-iwaki.net/>



● 過去の情報やセンターの詳しい活動内容は HP をご覧ください。 ●